

平成21年度 府立北嵯峨高等学校 学校経営計画(スクールマネジメントプラン) ( 計画段階 ・ 実施段階 )

学校経営方針	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点
<p>△「独創質実」の精神を具体的教育実践に活かす。</p> <p>△類・類型（Ⅱ類文理系及びⅠ類文系・理系・スポーツ科学系・総合系）の特色化に取り組む。</p> <p>△教育方針を踏まえ、「教育指導の重点」の具現化に取り組む。</p> <p>(1) 規律ある生活と健康・安全生活の確立</p> <p>(2) 学力向上と進路希望の実現への取組</p> <p>(3) 特色ある学校づくりの一層の推進</p> <p>(4) 地域に開かれた学校づくり</p> <p>(5) 人権教育の充実</p> <p>(6) 国際理解教育・環境教育・情報教育の充実</p> <p>(7) 社会の変化に対応した本校の将来像の構築</p> <p>(8) キャリア教育の充実</p> <p>△「学習と部活動の両立」を目指した学校づくり。</p>	<p>(成果)</p> <p>(1) 本校の現状に対する危機感を共有し、学力向上に向けた新たなプランを策定できた。</p> <p>(2) 協働体制を徐々に強化することができた。</p> <p>(3) 朝自習、学年通信の定期発行、教科指導法研修会など新規の取組を効果的に実施できた。</p> <p>(4) 基本的な生活習慣の確立に向けた取組において一定の成果があった。</p> <p>(5) 生徒会活動がさらに活発化した。</p> <p>(課題)</p> <p>(1) 進路希望実現への取組の充実</p> <p>(2) 生徒の基礎学力定着と自学自習力の育成</p> <p>(3) 教科指導力の向上と授業の工夫・改善</p> <p>(4) 部長会議を中心とした学校運営機能の充実</p> <p>(5) 一致した生活指導の推進</p>	<p>(1) 授業研究、教科指導法研修、授業評価などを有機的に関連づけ、授業力向上のためのシステムを構築し、すべての教員の資質向上を図る。</p> <p>(2) 部長会議、教科主任会議を充実させるとともに、各分掌、各教科の連携・協議を重視し、一人ひとりの生徒の教育に学校全体が責任を持つ指導体制を確立する。</p> <p>(3) 教職員の協働体制をより一層強化し、互いに学び合い支え合う職場環境づくりを推進する。</p> <p>(4) ISプロジェクトおよびキャリア教育をさらに充実させる。</p> <p>(5) 学校評価・教職員評価を効果的に活用し、学校の教育力を向上させる。</p> <p>(6) すべての授業において、50分の授業を確実にを行い、充実させる。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	No	評価	成果と課題
組織・運営	◇教職員の組織体制を整備し、各分掌の機能を活性化する。	◆本年度学校経営の重点に基づいて、分掌ごとに年間重点指導目標を設定し、進行管理を行う。	1		
		◆部長は、相互の連携を緊密にとり、分掌内の意見を把握して、潤滑な学校運営を推進する。	2		
	◇学校外からの意見を率直に受け止め、学校経営に生かす。	◆評価結果を学校評議員に提示し意見を求めるなど、学校経営において学校評議員を有効に活用する。	3		
		◆保護者対象の学校評価アンケート結果を学校改善に生かす。	4		
教育課程の編成と実施	◇本校の教育課程の特色をより一層明確化する。	◆生徒の学習状況・進路希望の実態及び現行教育課程の成果等を踏まえ、改善する。	5		
		◆ISプロジェクト会議を中心に全教員による指導体制を確立するとともに、生徒の意識を高め小論文指導を質的に向上させる。	6		
学習指導	◇教科指導力を向上させる。	◆教科指導法研修会を充実させ、教科科目の枠を越えて、教科指導力の向上と授業の工夫・改善に努める。	7		
		◆研究授業週間を年2回設け、すべての授業を公開し、授業改善に生かす。	8		
	◇教科に対する興味と学習意欲を高め、学力を向上させる。	◆府高実力テスト等の結果分析を行い、教科指導に生かす。	9		
		◆教科指導の工夫・改善や様々な啓発を行い、家庭学習を定着させる。	10		
◇中途退学・原級留置を防止する。	◆不登校・倦怠学生徒の早期発見に努め、また、成績不振生徒に対しても、進級・卒業に向けた的確な指導を行う。	11			
◇読書意欲を向上させ、読書習慣を形成させる。	◆早朝開館により朝の読書を奨励すると共に、展示や読書会、調べ学習等を通して、図書館及び図書資料の活用を促進する。	12			

生徒指導 特別活動	◇高校生活の望ましいあり方を再認識させ、基本的な生活習慣を確立させる。	◆服装や身だしなみの指導、頭髪指導を全教職員で徹底して行う。 ◆毎日の登校時校門指導や生活週間など、あらゆる機会を利用して、基本的な生活習慣を身につけさせる。	13			
	◇生徒の自主性・自発性を伸ばさせる。	◆文化祭等の各行事において、生徒を中心に準備に取り組み、内容を充実させる。 ◆生徒会が中心となって、生徒自らが自転車マナーを含む交通安全意識を向上させる。	15			
	◇学習と部活動の両立を推進する。	◆担任・教科担当・部活動顧問が連携を密にし、学習状況・活動状況等を把握し、生徒の自覚を高めさせる。	17			
	◇計画的・系統的に進路学習を実施する。	◆3年間を見通した進路指導計画を立て、それに基づいて、「ISノート」や「進路のしおり」を活用した進路ホームルームを計画的に実施する。	18			
進路指導	◇全校を挙げた進路指導を推進するために、指導体制を強化する。	◆日常的に面談指導を行い、生徒の理解に努めるとともに、関係教員で情報を共有し指導に生かす。 ◆進路検討会を、進路指導部と学年が連携して計画的に行い、取組を充実させる。	19			
			20			
人権教育	◇人権問題について広く深い理解と正しい認識を高める。	◆年2回の人権週間の取組を充実させるとともに、生徒の人権意識を的確に把握し、指導に生かす。	21			
健康・安全 教育	◇交通規則の遵守とマナーアップに努め、交通事故防止に役立つ。	◆自転車安全点検・雨合羽の着用指導、生活実態調査等を通じて、自転車走行マナーを向上させる。	22			
	◇保健指導の充実により、生徒の健康に対する意識を高めるとともに生徒が心身ともに健康に過ごすための環境作りを推進する。	◆心身に問題を抱える生徒の早期ケアのために、保健部と学年部が連携を強化するとともに、スクールカウンセラー事業を有効に活用する。	23			
学習環境	◇校内の環境美化を推進する。	◆日常の清掃活動を中心に、月1回の大掃除・各学期の美化週間において目標を明確化した取組を行い、学習環境を整える。	24			
安全管理 情報・文書 管理	◇学校の危機管理体制を強化する。	◆全教職員が学校の危機対応についての理解を深め、日頃から、適切な対応ができるようにする。	25			
	◇個人情報の管理を徹底する。	◆北嵯峨高等学校セキュリティ対策基準に対する理解を深め、教職員のセキュリティ意識を高める。	26			
キャリア教育	◇各教科や分掌においてキャリア教育を推進する。	◆シラバスに基づいて授業の中でキャリア教育を実践するとともに、すべての行事をキャリア教育の視点で充実させる。	27			
家庭・地域 社会との連 携	◇広報活動を充実し、学校の情報を迅速に提供する。	◆ホームページの更新に組織的に取り組み、最新の情報を発信する。	28			
	◇積極的な生徒募集に努め、本校への志願者を増加させる。	◆学校公開への参加を地域の中学校に積極的に働きかけるとともに、内容を魅力あるものにする。	29			
次年度に向 けた改善の 方向性						